阿知須町広報

NO.113（毎月10日発行）

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
印刷　宇部新聞社

昭和36年4月10日

☆いよいよ今月から☆

国民年金が発足

保険料は印紙で納める

このたび国民年金に加入された山本さんに国民年金手帳が届きました。そこで山本さんは町役場の年金のA係員さんに保険料の納め方などについていろいろ尋ねてみました。

山本さん　いよいよこの月から保険料を納めることになりましたね　早速ですが、保険料は三十四才まで月百円、三十五才からは月百五十円と聞いていましたが、どういう方法で納めるのですか？

Aさん　役場で百円と百五十円の国民年金印紙を売つていますから　それを国民年金手帳にはりつけ国民年金係で検印を押すことになつています。

山本さん　検印というと…

Aさん　手帳に印紙をはりつけただけでは保険料を納めたことになりません。そこで役場の確認のスタンプをおすことによつてはじめて納めたことになるわけです。

山本さん　しかし、わざわざ役場まで検印を受けに行くのは大変面倒なことですね。

Aさん　そういう感じが一般的だと思います。そこで町としては、各区の白菊会の方々に毎月二十日から月末にかけてこの集金をお願いして、係では一緒に集められた手帳に印紙をはり、検印をして各加入者にお返しすることにしています。しかしなんといつても皆さん一人一人がこの国民年金を育てる気持で、自発的に検印を受けられることが何より大切なことだと思います。

山本さん　結局は自分のことですからね。ところで検印はやはり毎月受けることになりますか？

Aさん　毎月が面倒なら、一月、四月、七月、十月が納期限ですから、納期限までの三カ月分をまとめて受けられてもよいわけです。

山本さん　一年分まとめて納める方法もあると聞きましたが……。

Aさん　一年分は限りません。二年分、三年分という様に、年単位で前払いすることもできますし六十才までの分を全部でも前払いができます、前払いしますと年五分五厘の利率による複利計算により上の表のように割り引きされます

山本さん　保険料が納められないときは？

Aさん　免除のシクミがありますから、役場へ届け出てください。納められないからといつて、そのままにしておかないで、その手続きをされることが大切です。

（国民年金主管課）

前納保険料の割引額の例

前納時の年令	前納期間	前納でない場合の額	前納額
２０才	５年	6.000円	5.280円
	１０年	12.000円	9.310円
	40年完納	63.000円	23.540円
３０才	１０年	15.000円	11.330円
	30年完納	51.000円	24.300円
３５才	５年	9.000円	7.910円
	１０年	18.000円	13.970円
	25年完納	45.000円	74.860円
４０才	20年完納	36.000円	22.150円
５０才	10年完納	18.000円	13.970円

1年生

お兄さんお姉さん達の
拍手に迎えられながら
式場に入る新児童

36年度婦人会役員きまる

阿知須婦人会

会長　上野なか（岩上）
副会長　田中八重子（恵比須）
　真重美智子（中村）

井関婦人会

会長　藤井ユキ子（且門松）
副会長　木原ヤヨエ（且東）

商工普及員を募集

希望者は履歴書を商工会へ

このたび阿知須商工会では会員の経営と改善を図るため普及員を募集中です。　応募資格は

一、旧制高校卒業以上
一、年令　廿五－五十才

男女を不問詳細は面接の上

新区長さん決まる

４月１日付で、昭和３６年度の区長さんが次のとおり決まりました。

いうまでもなく区長さんは、区民の代表者として町政の諸連絡に至るまで、直接区民に接せられ、これが町政にも反映され明るい町を作る大切な要務をもつておられるのであります。引き続いてご心配される方もありますが、よろしくご協力方をお願いします。（敬称略）

小東	縄中房一
小西	橋本新一
小南	山田秀雄
北祝	高野利太
南祝	松本隆夫
恵比須	部坂政夫
築地	弘重政雄
東	末定
縄南	中野丈作
縄北	天野祐成
中村	村田吉助
西条	新谷明一
寺河内	兼重文一
浜	青木静虎
砂一	山本幸雄
砂二	平岩長松
砂三	西村隆男
飛石	古谷重一
岩西	田辺竹千代
岩前	上野治郎
岩西前	上野周次
岩辻	辻田信幸
岩上	前田稔
且東	藤村敏夫
且西	松原勇治
且北	兼重繁
且門松	竹原利安
岡	岡本博人
浜表	田中寿人
赤迫	古谷信一
井関	松井八重子
野口	梶間谷元夫
河内	片山浩太郎
源河	高下生吉
向井関	田中順一
引野	柳井喜一
仙在	村長忠雄
青畑	小休敏雄

町財政の基礎収入

96％と好成績

昭和三十五年度も大詰めを迎えた先月三十一日、町公民館で、恒例の町納税組合表彰式が行なわれました。

この日は町財政の基礎をなす町税の徴収に、多忙の中にも私事を投打つてご心配をされ優良な成績を収められた組合長並びに組合が表彰されました。各組合の協力をいただき三十五年度の収納率（三月三十一日現在）で固定資産税（三公社からの納付金を除く）、町民税（給料から差引く分を除く）軽自動車税など、直接納税令書を発する徴収によるものだけでも九十六・四％という県下でも屈指の好成績をあげることができました　今回晴れの表彰を受けられた組合長並びに組合は次のとおりです。

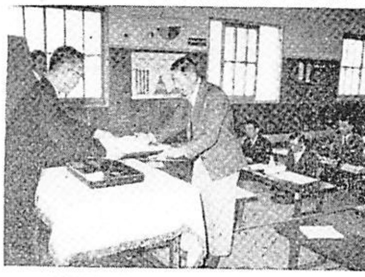
◇組合長表彰（督促令書が一枚も出されなかつた組合と出されたが当日までに完納の組合の（組合長）以下。各々氏名組合は順不同。

坂野明一（小東）山本チエ子（砂一）平岩長松（砂二）宮部宇次郎（砂三）伊藤父右衛門（岩上）伊東多佳女（且東）藤重延市（且西）竹重コマツ（門松）鈴川明（岡）本永伊佐雄（浜表）兼田鈴子（赤迫）西村正一（井関）古井太郎（杖川）柳井マサエ（引野）小林嘉一（青畑）工藤清夫（漁業協同組合）

◇組合表彰

一等　小東、砂一、砂二　且西、門松、赤迫、井関、杖川、青畑、漁業協同組合
二等　該当なし。
三等　（督促令書の枚数×五に納税令書枚数を加えたもので、徴税令書枚数を除した率が九十八乃至九十九％）岩上、浜表。

16組合長12組合が表彰さる



写真は組合長表彰を代表で受ける西村正一さん

軽自動車税（一部）変わる

税法改正　軽三輪、軽四輪車に

軽自動車税のうち、軽自動車の税額が今年度から変ります。

従来、軽自動車税は、原動機付自転車、軽自動車、二輪の小型自動車に町税として課税されていますが法の改正により右のうち、軽自動車が次のように分類され、今まで一率であつた税額も分けられました。

三輪の軽自動車は　二千円
四輪の貨物用軽自動車は　二千五百円
四輪の乗用軽自動車は　三千円

納期は、右変更に伴ない軽自動車に限り今年は六月（月末）まで

ワン公の注射日

４月17日午前９時から12時まで　場所　岩倉保育園で
４月17日午後１時から５時まで　場所　野口農協支所前で
４月18日午前９時から５時まで　場所　町役場

今月の納税は 固定資産税及び 軽自動車税です

60歳から年金がもらえる

法の改正　死亡一時金も創設

いま国会で、国民年金法の一部を改正する法律案が審議されていますが、そのあらましを紹介してみましょう。

◎拠出制年金の一部改正

一、年齢年金の繰上げ支給

現行法では、六十五才にならないと老齢年金がもらえないが、希望によれば六十才から減額した老齢年金を受けられること。

二、特例による老齢年金

現行法では、最低十年ほど保険料を納めないと老齢年金がもらえないが、一年以上保険料を納めていれば、六十五才から七十才まで特例による老齢年金を、保険料を納めた期間に応じて、五千円、七千円、九千円の三段階に区分して受給できるようにすること。

三、準母子年金の創設

現行法の母子年金に加えて、新たに準母子世帯（兄弟姉妹の子どもを養育している場合など）は準母子年金を受給できるようになること。

四、障害、母子、準母子遺児年金の受給資格期間の短縮

現行法では三年となつている受給資格期間を経過的に短縮し、拠出制年金発足後一年以上三年未満の間に支給事由が発生した場合は三年未満であつても、減額して年金の受給ができるようになること

五、死亡一時金の創設

保険料を三年以上納めた人が死亡したときは、保険料を納めた期間に応じて、五千円から五万二千円までの死亡一時金をその遺族が受給できるようになること。

◎福祉年金の一部改正

一、準母子福祉年金の創設

母子福祉年金に加えて新たに準母子世帯に対して準母子福祉年金を支給する。

二、母子福祉年金の支給制限の緩和

受給権者が二十五才以上の子と生活を共にしている時は支給を停止されているが、この制限が廃止される。

◎その他

未支給年金の支給範囲の拡大

現行法では、未支給年金を受けることができるのは、母子年金、遺族年金を受けることができる人となつているが、その範囲をひろげ、本人と生活を共にしていた配偶者、子父母、孫、祖父母、兄弟姉妹も受給できるようになる。

新校長 井小に 水田耕作氏が

西村校長は富海小へ

父兄からも関心の的であった先生方の異動も決まり、本町関係では、次の諸先生が転出入されたのでお知らせします。主な異動としては、井小西村春雄校長が富海小学校へ、新校長に吉佐教育事務所から水田耕作氏が、また、阿中今井教頭は後進に席を譲られ、長い教員生活に終止符をうたれた。

カツコ内は旧任地

阿中

山尾五郎（小郡中）山本晃（秋穂小）山田由紀子（串中）篠原周三（川上小）南波航（秋穂中）

阿小

伊藤梅子（井関小）末次秀子（小郡小）

★転任　栗田信子—小郡小へ、松村馴—秋穂小へ、西村道子—小郡小へ

★退職　石川節子

井小

★新任　水田耕作（校長）—吉佐教育事務所

★転任　西村春雄（校長）—富海小へ

婦人学級 時間割決る

阿知須町婦人学級

（旧阿知須学園舎内）

阿知須町婦人学級は四月十日より開講いたしました。町内婦人の方はみんな学級の生徒となつて頂きたいので次の時間割を切り取つて適当な所に貼つて自由な日に気軽るに勉強して下さい。

阿知須町婦人学級時間割

上の時間割を基本としてすすめていきます。特別に料理、洋裁、育児、手芸等の講習をいたしますが、その都度有線放送や広報その他で連絡します。

曜／時	月	火	水	木	金	土
1	和裁	社会	和裁	和裁	和裁	和裁
2		和裁				
3						
4						
5	華道	和裁	家事	和裁	手芸	茶道
6						
7		音楽				

小古郷チームが二連覇

＝第11回町内駅伝競走大会＝

町体育協会の主催による第十一回町内駅伝競走大会は、三月二十六日開催され、小古郷チームが第十回大会に続き二連勝を飾つた。

当日は小雨であつたといえ、前日から降り続いた雨に、参加八チームの各選手は、背にアトバネをいつぱいに浴びせられるという最悪のコンデイションの中に熱戦が繰りひろげられた。

午前十時半、中尾体育協会長（町長）の号砲で一斉にスタート（小学生）、第一中継所（漁協前）で第七位の小古郷チームは、第二区の金重選手でトツプを奪い、第二位を千二百メートル引き離して第三区にバトン・タツチ、そのまま押し切り、先の第十回大会に続いて二度目の優勝を飾つた。

チーム成績・区間賞は次の通り

◎優勝　小古郷　1時間19分30秒
二位　岩倉　1時間23分0秒
三位　東条　1時間25分20秒

◎区間賞
第一区（小学生）上野菊美—東条　5分18秒
第二区（青年）金重千之—小古郷　13分04秒
第三区（高校生）松本和男—岡　20分52秒
第四区（三十才以上）藤田得三—引野　8分31秒
第五区（中学生）兼重隆文—岡　10分37秒
第六区（青年）下川隆男—岩倉　15分04秒

藤村さん医博に

運動生理・眼科学の研究で

かねて山口医大に学位論文を提出されていた藤村忠明さん（細北）に、このたび目出たく医学博士の称号が贈られましたので披露いたします。

論文は、主論文に「挽曳（ばんえい）の理論＝運動生理学」、副論文に「再発生ブドウ膜炎＝限眼科学」で、一月十二日審査会をパスし三月二十二日学位証が贈られました。これで本町には三好正之、新井宗隆、兼定彰三氏に続き四人目の医博が誕生したことになります。

豊かにたくましく生き抜く近代的生産人を

井関小学校長　水田耕作

このたびの人事異動ではからずも井関小学校に勤めさせていただくことになりました。吉佐教育事務所在任中もたびたび本町に参りましていろいろお世話になつておりましたが、今回現場に復帰いたしましてこれから町民の皆様方と一体となつて阿知須の教育に専念することになりました。

新任地は風光明眉な伝統ある学園であり、私ごとき凡庸非才の身では重責を果し得るかどうかとあやぶんでおりますが、新らしい意欲を身に感じひたすらにこどもの幸福を念じ誠意と情熱を傾けてその職責を果す覚悟でございます。

特に本年からは小学校は、新教育課程が実施され新しい教科書で勉強することになりますが、地域の特性に立ち小学校の発展段階を考え将来への基礎づくりに万全を期したいと思つております。

つきましては、町御当局をはじめ先輩各位町民一般の方々の御指導御鞭撻をよろしくお願いいたします。まことに簡単でございますが紙上をかりまして御挨拶を申し上げます。

三月短歌会詠草

順不同

満開の丁字の花をよけながらむつき乾かぬ竿を入れ居り　原田英子

土におろせし盆栽の松は生きつぎて春陽の中に芽伸びゆく　兼重きぬ

求め得る安らぎは遠き思いして月食移る窓を閉めぬ　是枝英雄

里を出れば風なき日溜りの中に出づ開きかけたる椿の茂り　河崎毅代

西がわの梅もようやくほころびて庭に小鳥の集い来て鳴く　正司ウメノ

枯葉の下に群れ生ふ芹の中一筋水の流れゆく見ゆ　大野キヌエ

次の世代の成長に 婦人の深い英知を！

10日からの婦人週間を迎えて

昭和二十三年四月十日わが国に〝婦人の参政権制度が始めて実施されてここに十三年、社会の近代化にともなつての婦人の生活も、またその役割りも変化し、さらに各方面の婦人に対する期待もいよいよ増してきております。

その期待に応えてそれぞれの力を役立てる事は今日の社会に生きる婦人として大きな責任があるといえます。

特に、生活様式や思想の変化に目をみはるものがある現在、次の世代をどのように育てるかは、婦人の直面する最も大きな課題ではないでしょうか。

この考えのもとに、毎年「婦人週間」としてこの運動が進められていますが、婦人が変化の激しい今日の社会におけるその役割りを認識し、将来、社会のにない手となるべき青少児童、幼児などの世代が民主々義社会のよき一員であり、かつ生活の各方面における変動にも対応し得るような人格を育てあげる時に、婦人が自主的な見識と態度をもつて、その地位を高めるとともに、社会の成長に役立つようお互に努力していこうではありませんか。

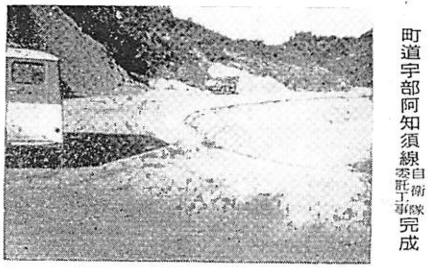
宇部市街地へひとまたぎ

町道宇部阿知須線（自衛隊委託工事）完成

ラジウム温泉から直接宇部市街地に通じる幹線道路工事が現在着々進められていることの一部を、去る一月中旬から工費約七十万円で陸上自衛隊施設隊に委託していたがこのたび完成三月二十七日第四管区総監、県当局など多数の関係者を招き引渡式がラジウム温泉で行われた。

この幅員七米、延長八百二十米の道路は、先きに竣工した宇部側と結ばれ、危険な踏切りをまたがずに、県道宇部大田線と接続し、宇部市街へひと走りという至近距離を結んであるため、従来の炉野経由の細道往来もこれで解消でき、農産物を主とした輸送も活発化することと思われます。

なお、炉野、青畑間の道路は、この道路と立体交差しています。



（写真は、宇部市境付近）

特別教室が竣工

今年度がピークの中学生

写真のように中学校に普通教室をはさんだ特別教室ができあがりました。

今までは、この音楽、被服両教室は本館西側の校舎におかれていたが、次のように、本年度をピークとする生徒激増により普通教室に模様替えされたため建てられたもので、総工費は二百九十万円です。なお、三十七年度からは漸次減少してゆき、教室が余つてくるため、実社会に出てすぐ役立つ実質的な技術教育にも力が入れられることになつています。

ポンと一万円寄贈

前阿知須学園教師　磯部さんが

三月三十一日付で磯部マスミ先生は東京へ帰郷のため学園を辞められましたが、このほど離町に際し町社会福祉事業推進のために…と一万円寄附されました。町社協では同先生の篤志により生活困窮者の更生や児童育成資金として取扱うことになりました。

駅・魚市場間を簡易舗装

これで大動脈のドロンコも解消

道路の整備は、産業文化、町内美化の基盤をなすといわれていますが、今日の状態では残念ながら都市計画も困難であります。

そこで、まず雨天時のドロンコ道の解消からと、町道のうちでも最も重要な路線である阿知須駅魚市場間が、近く商工会の発案により簡易舗装されることになりました。

この道路は、平均幅員五・一メートル、距離八百七十米で、工費六十余万円は、道路ぞい百二十戸余りのあん分負担となつています。

工事開始は、県当局のグレーダーの都合もあり、一応未定になつていますが、おおむね今月中に着工され、約一カ月間を要するため十七夜祭も後日に見合わされています。

人事異動

四月一日付で次のとおり人事の発表があつたのでお知らせします

カツコ内は旧職名

◎異動

税務係（庶務係）山田満雄
税務係（産業係）水本存士
税務係（厚生係）細重由紀子
庶務係（税務係）田村渉
保険衛生係（税務係）北村茂
厚生係（税務係）藤本一男
産業係（保険衛生係）中尾雄
保険衛生係（保険衛生事務補佐）磯崎英規
砂合保育園（岩倉保育園）金子富美枝
岩倉保育園（砂合保育園）大谷節子

◎退職

正司ツル子（税務係）
宮部粲子（学園講師）
磯辺マスミ（学園講師）

慶弔録

〈四月の人のうごき〉

★出生届は十四日以内に★

（出生の部）

父氏名	続柄	出生児	区
本永　稔	長女	光子	浜表
潮中　巌	長女	政恵	砂二
中村巳代治	二男	一己	寺河内
岡崎　豊	二男	次郎	小西
橋本八七一	長男	修	小西
磯崎　文男	長男	洋	細南
師井　明徳	長男	隆雄	岩辻
山根　益男	長男	和弘	小東
藤田　孝雄	長男	良隆	引野
山本　清	長女	敦子	西条
谷原　孝	長男	緑	浜
北村　磐	長女	恵子	北税
上野　信泰	長男	英明	小南

（婚姻の部）

夫		妻	
藤本　具視	門司市	網田ヤス子	砂三
潮中　精一	南祝	竹本　妙子	南祝
末次　友晴	嘉川	森崎キヌ子	且東
真平　豊	中宇部	林　美津子	小南
真重　博	細北	国吉理美子	深溝
吉村　英治	岡	大下ミサエ	岡
藤井　宏三	門松	三門あい子	東京都
深部　弘行	小西	上原スミ子	八王子
竹原　誠	門松	秋村　ヒデ	中宇部
斎藤　和義	細北	赤坂ヒサ子	西岐波
田辺　勝	岩上	山本美津子	東岐波

（死亡の部）

氏名	日付	年齢	区
藤谷　タツ	3月4日	58	野口
吉本　ヒサ	3月7日	63	岩辻
坂野　治郎	3月9日	67	南税
浜崎セツ子	3月11日	36	細南
細田　スマ	3月14日	83	寺河内
末永直之進	3月16日	90	小西
小林　サツ	3月18月	83	飛石
竹田　修	3月22日	27	寺河内
上野　英明	3月18日	0	小南
松田　敏介	3月29日	77	寺河内

（三月中に届け出のあつた件）